



宿題・Dictationのやり方

★①教材 …映像を見ながら通して最低週7回は聞く

音のみの場合
聞きながら
教材を開き、指で指しながら
(文字や絵を目で追いながら)
自分も声に出して真似ながら

★②なぞり教材 (Dictation教材)

映像を見ながら
なぞりの部分のみ
自分も声に出しながら
予習として「なぞってくる」

予習として行い、
めやすはすべてのカテゴリーの 1/3程度が良い。

①宿題はやって頂きたいが強制ではない。宿題を強制的にやらせる事により英語が嫌いになる事は避けたい。

②宿題は「予習型」です。Lesson映像は見る回数が多ければ「音」を覚えてしまうので、最高です。

なぞり宿題のめやすは「当月Unitの」月3回授業であれば各ページ3分の1つつ、
月4回授業であれば4分の1つつ (大体でOK) 、

なぞる部分のみ「映像を見ながら、言いながら」行う。

スピードが速いので「一旦停止」を利用して行う。

③授業内ではDictationと称し、各ページ、1~3問づつを講師がピックアップし

何度か「親がひらかなを教えるイメージで寄り添うように発音し」

赤の部分に1回書きます。(ねらいは

「文章を書くという経験を神経的に残す事」です。テストではありません)

すべてに映像があります。QRコードにて読み取ってください。

④左記の赤い四角を授業内で、青い四角を宿題で行います。

